

1982 1 海外文献集「評価の研究」

(15 巻)

2 焦点●「臨床における看護研究の諸問題」

座談会「臨床における看護研究のあり方を探る」 内藤 寿喜子, 鷗沢 陽子, 中西 睦子
Conference・素材「血行動態からみた体位変換の安全性について」 阿保 順子, 長谷川 れい子, 小田切 よし子, 新山 悦子
Conference・素材「しおり配布による内視鏡検査不安の軽減効果」 鎌倉 やよい, 猪野 幸恵, 新實 敏子, 大野 勝子, 入倉 里子, 太田 和子
Conference・素材をめぐって「臨床上の問題に結びつく研究の積み重ねを」 山口 雄三, 川畑 安正, 阿保 順子, 氏家 幸子
Conference・素材をめぐって「きめ細かな計画と分析を」 登坂 有子, 長谷川 浩一, 鎌倉 やよい, 小野寺 杜紀

3 特集●「看護研究における参加観察法」

第Ⅰ部

1. 研究としての科学哲学
2. アメリカにおける“研究”の教育
3. 書物や論文の読み方
4. 理論とは何か
5. 研究のプロセス

質疑応答

第Ⅱ部

1. 参加観察法とはどんな研究方法か
2. 看護婦である研究者が直面する問題
3. 日本において参加観察法を用いるには
4. 研究者としての資質を育てるためのレッスン
5. 研究のプロセス
6. 看護における参加観察法の目的

演習—フィールドノート分析の1例

質疑応答

資料1「痛みのフィールドノート」の例」

資料2「痛み：組織，仕事，相互作用の面からの考察」 Anselm Strauss, Shizuko Y. Fagerhaugh, Barney Glaser, 尾田 葉子

資料3「火傷病棟における痛みの表現と管理」 Shizuko Y. Fagerhaugh, 尾田 葉子

補講1講演「看護研究と実践のギャップを縮める—フィールド—リサーチによる場合」 Shizuko Y. Fagerhaugh

補講2講演「看護における研究指導—その論点と方策」 Holly S. Wilson

補講「私の「研究概論」の授業内容」 Holly S. Wilson

4 焦点●「教育の場における看護研究」

文献検索「教育の場における研究—昭和52～56年の5年間を対象として」 飯田 澄美子, 杉本 正子, 山口 明子

座談会「看護研究指導のあり方をめぐって」 瀬谷 美子, 高橋 千枝子, 島田 えみ子, 見藤 隆子

Conference・素材「精神科実習指導の課題—看護学生が困ったことのアンケートか」ら 森 ミツ子

Conference・素材をめぐって「研究目的を明確にし，それに適した計画を」 桜庭 繁, 小林 美治, 森 ミツ子, 前原 澄子

5 焦点●「管理の場における看護研究」

解説「「看護管理」の意味するもの」 草刈 淳子

文献検索「日本看護学会看護管理分科会における研究の動向」 村島 幸代, 飯田 澄美子

座談会「看護管理に関する研究のあり方」 平山 朝子, 荒井 蝶子, 前原 澄子

Conference・素材「退院時看護概要(看護サマリー)を考える」 森田 澄子, 小林 恵子, 望月 尚美, 峠 久子, 堀 喜久子

Conference・素材をめぐって「よりよい看護の質を目指した活動」 鈴木 小津江, 小林 久

		子, 森田 澄子, 堀 喜久子, 吉武 香代子
1983 (16 巻)	1	焦点●「研究における“こだわり”の大切さ」 解説「こだわり」 小此木 啓吾 解説「教育学における“こだわり”の問題」 加藤 幸次 座談会「研究の牽引力としての“こだわり”について」 中西 睦子, 前原 澄子, 登坂 有子, 樋口 康子
	2	焦点●「研究とその構想」 提言「わが研究生活 50 年をふりかえって—数学における研究」 矢野 健太郎 解説「研究とその発展—言語心理学の課題から」 芳賀 純 対談「—小原キク画伯に聞く—ひとつの絵が完成するまで」 小原 キク, 久保 成子 随想「看護研究と構想について思うこと」 中西 睦子
	3	焦点●「主観と客観」 解説「科学と主観性」 西脇 与作 解説「物理学における主観と客観の問題」 佐野 正博 解説「心理学における客観化の歴史」 鹿取 廣人 座談会「看護研究において「主観」をどう考えるか」 池川 清子, 南 裕子, 樋口 康子
	4	焦点●「数量化が内包する諸問題」 解説「数値の意味するもの」 一松 信 解説「人間科学における数量化の限界」 吉田 光雄 解説「数量的研究の効用と限界」 小谷津 孝明 座談会「数字で表わせること, 表わせないこと」 松野 かほる, 金子 道子, 前原 澄子
1984 (17 巻)	1	焦点●「人間を対象とする研究のむずかしさ」 解説「人間理解のための一考察」 横田 碧 解説「研究のための対象把握の基本」 島田 妙子 解説「研究の共有とコミュニケーション—臨床現場の研究を通してみて」 雨宮 悦子 解説「看護を実践する立場での研究」 市川 礼子 Interview「“本音”と“たてまえ”をどうみるか」 マーガレット・ロック, 南 裕子 Interview「対象者の考え方を大切に」 ナンシー・モリソン, 前原 澄子
	2	焦点●「Instrument Development の研究」 解説「CMI による神経症者の判別基準について」 深町 建 解説「STAI(The State-Trait Anxiety Inventory)について」 曾我 祥子 解説「SE(Self-Esteem)について」 菅 佐和子 解説「YG 性格検査」 辻岡 美延
	3	焦点●「続・Instrument Development の研究」 解説「ソーシャルサポートを測定する測定用具の開発過程」 Jane S. Norbeck, 野島 佐由美 解説「「Norbeck ソーシャルサポート質問紙」の日本語訳版の作製過程」 南 裕子 解説「心理学における Instrument について」 藤原 喜悦
	4	焦点●「研究の基本的諸側面」 討議素材「健康教育におけるコミュニケーションパターンと思い起こし」 Keiko Imai Kishi, 藤野 彰子 座談会「研究の基本的諸側面をめぐって—Dr. Kishi の論文を素材として」 前原 澄子, 南 裕子, 加藤 久美子, 西尾 鏡子 解説「概念枠組の明確化について」 中野 正孝 解説「因果関係の考え方」 柳井 晴夫, 佐藤 俊哉 解説「—研究の批評—研究の妥当性に焦点を当てて」 野嶋 佐由美 解説「変数の分類と統計的分析」 高木 廣文
1985 (18 巻)	1	特集●「看護理論を活用するために システム理論に影響を受けた看護理論に焦点を当てて」 第Ⅰ章, 看護における理論の必要性 Patricia Benner 第Ⅱ章, 看護理論の分析法 Patricia Underwood 第Ⅲ章, 一般システム理論と看護 Patricia Benner 第Ⅳ章, オレム理論の概観 Patricia Underwood 第Ⅴ章, オレム理論と看護現象 Patricia Underwood 第Ⅵ章, オレム理論の活用 Patricia Underwood

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
1985 (18 巻)	1	第Ⅶ章, オレム理論と日本の看護 南 裕子 第Ⅷ章, 討論—日米の文化の差異に注目して 著者なし
	2	焦点●「科学の最先端と看護」 シンポジウム「科学の発展過程と各学問領域の現状」 武藤 重治, 山崎 照俊, 岡堂 哲雄, 南 裕子 座談会「変貌する科学と看護」 前原 澄子, 小柳 乃里子, 奥野 茂代, 押尾 祥子, 眞田 知子
	3	焦点●「実践理論のその後の展開」 対談「理論と実践の関係—実践理論をどう読むか」 中西 睦子, 南 裕子 海外文献 1「看護における理論開発のためのモデル」 Peggy L. Chinn, Maeona K. Jacobs, 原 尻 真理, 内海 滉 海外文献 2「看護理論に関するパースペクティブ」 Margaret E. Hardy, 小川 圭子, 内海 滉 海外文献 3「看護モデル」 Helen A. Bush, 田丸 雅美, 内海 滉 海外文献 4「看護実践に用いられている知識からみた看護理論の必要性」 Jan Beckstrand, 小 泉 滋子, 内海 滉 海外文献 5「看護実践理論の諸概念に対する批判」 Jan Beckstrand, 安酸 史子, 内海 滉 海外文献 6「Beckstrandの実践理論の概念: 論評」 Rosemarie J. Collins, John H. Fielder, 土 屋 有利子, 内海 滉
	4	焦点●「科学性と個別性」 解説「科学の中の一般性と個別性」 西脇 与作 解説「看護における科学性と個別性」 中井久夫 解説「看護研究の目標と個人に対する倫理的問題」 Nancy S. Engel, 黒江 ゆり子
	5	焦点●「看護行為に関する評価研究」 解説「教育における授業研究の意義—2つの種類の授業とその研究」 加藤 幸次 解説「臨床心理におけるカウンセリングの評価について」 遠山 敏 解説「看護行為評価への考え」 見藤 隆子 解説「実習指導行為とその評価—精神科臨床実習指導に対する学生の反応による指導行為の分 析」 坂田 三允 事例「看護行為を評価するための試み—患者・看護婦関係における看護婦ののがて感を手がかり として」 有竹 朋子
1986 (19 巻)	1	特集●「理論と研究の接点 サポート概念に焦点を当てて」 第1章「看護におけるソーシャル・サポート—理論と研究の接点」 Jane Norbeck 第2章「ソーシャル・サポートと演繹的研究法」 Jane Norbeck 第3章「演繹法と帰納法の交差点—「ソーシャル・サポート」に焦点を当てて」 Jane Norbeck 第4章「家族のケア提供—理論と研究の接点」 Patricia Archbold 第5章「家族のケア提供と帰納的研究法」 Patricia Archbold 第6章「帰納的研究と演繹的研究の交差点—「家族のケア提供」に焦点を当てて」 Patricia Archbold 第7章「妊産婦をとりまくサポート・システムについて」 近藤 潤子 第8章「討論」 記名なし
	2	焦点●「研究計画の舞台裏」 解説「論文作成の足場の組み立てとその周辺」 小島 通代 解説「カベに次ぐカベの研究過程」 中西 睦子
	3	焦点●「文献検索の舞台裏」 Essay「文献 色とりどり」 今江 祥智 解説「看護分野における文献の検索—情報源とその活用について」 山添 美代 解説「“甘え”の研究と文献との出会い」 佐伯 千鶴子 報告「理論的枠組を求めて—私の修士論文における文献検討」 長谷川 まなみ 報告「実験研究における文献の活用—研究の経過を振り返って」 橋本 裕恵 報告「研究における文献検索の方法および文献の活用に関する一報告」 近澤 範子
	4	焦点●「看護研究と概念枠組」 解説「看護研究における概念枠組の重要性」 内海 滉

- 1986 4 解説「私の研究領域における概念枠組—話しことばの心理」 芳賀 純
(19 巻) 討議素材 1「感覚変容を伴う外科的治療を受けた患者のコーピング行動に与える感覚情報と行動指導の効果」 Betty J. Hill, 黒江 ゆり子
討議素材 2「子宮摘出術: 回復に伴う対処(コーピング)の研究」 C. Webb, J. Wilson-Barnett, 黒田 裕子, 中西 睦子
討議素材 3「家庭における老人のコーピング: 継続看護の研究」 F. E. King, J. Figge, P. Harman, 中西 睦子, 森山 美知子
座談会「研究における概念枠組の位置づけ—3つの素材論文をめぐる」 寺内 礼, 南 裕子, 竹尾 恵子, 前原 澄子
-
- 5 焦点●「研究方法の選定」
座談会「看護研究における方法選定の問題点」 中西 睦子, 金川 克子, 野島 良子
海外文献「看護哲学と看護研究: 協調か対立か」 Patricia L. Munhall, 粟生田 友子
海外文献「単一標本による研究」 Karyn Holn, 菱沼 典子
海外文献「定性的研究対定量的研究か定性的研究と定量的研究か」 Laura D. Goodwin, William L. Goodwin, 松谷 美和子
海外文献「看護研究における現象学的アプローチ」 Carolyn Oiler, 黒江 ゆり子
-
- 1987 1 特集●「看護研究の質の向上をめざして 研究における理論や概念枠組の役割」
(20 巻) 第1章「看護理論と研究」 Afaf I. Meleis
第2章「Rogers 概念モデルに基づく研究」 P. Winstead-Fry
第3章「役割理論と看護研究」 Afaf I. Meleis
第4章「役割移行と健康」 Afaf I. Meleis
第5章「家族システム理論と看護研究」 P. Winstead-Fry
第6章「家族ダイナミックスと健康」 P. Winstead-Fry
第7章「理論的枠組の創生」 Nancy S. Engel
第8章「入院による2歳児の情緒的混乱に対する親の支援の分析」 筒井 真優美
第9章「討議」 記名なし
-
- 2 焦点●「ソーシャル・サポート・1」
解説「ソーシャル・サポート研究の動向と今後の課題」 久田 満
各領域におけるソーシャル・サポート研究の現状「社会福祉領域におけるソーシャル・サポート研究」 藤井 達也
海外文献「ソーシャル・サポートに関する看護の国際的研究の動向: 基本概念と方法論上の問題点について」 Jane S. Norbeck, 羽山 由美子
海外文献「看護理論構築におけるソーシャル・サポートの概念化および測定に関する若干の論点について」 Virginia Peterson Tilden, 羽山 由美子, 本誌編集室
インタビュー「Dr. Norbeck に聞くソーシャル・サポートの研究動向」 羽山 由美子
-
- 3 焦点●「ソーシャル・サポート・2」
解説「ソーシャル・サポート研究の概観—アメリカからの報告」 Ada M. Lindsey, 黒江 ゆり子
各領域におけるソーシャル・サポート研究の現状「精神病者のソーシャル・サポート・ネットワークに関する研究の概観」 野嶋 佐由美
各領域におけるソーシャル・サポート研究の現状「小児看護とソーシャル・サポート・ネットワーク」 片田 範子
文献検索「自殺とソーシャル・サポート・ネットワークの関係に関する文献検索」 明田 恭子, 久保田 加代子, 古庄 しおり, 和田 素子, 南 裕子
-
- 4 焦点●「ソーシャル・サポート・3」
「シンポジウムの概要」 Shirley A. Murphy, 小泉 滋子
「コストと葛藤—ソーシャル・サポートの否定的側面」 V. P. Tilden, R. D. Galyen, 小泉 滋子
「ソーシャル・サポートと構成的発達モデル」 Edythe S. Ellison, 松谷 美和子
「肺癌患者へのソーシャル・サポートとコーピング」 J. M. Saunders, R. McCorkle, 藤野 文代
「不確かさ—ソーシャル・サポートと適応の媒介因子」 Merle H. Mishel, Carrie Jo Braden, 安酸 史子

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
1987 (20 巻)	4	「セルフ・エフィカシーとソーシャル・サポート—自然災害に伴う精神的ストレスの媒介因子」 Shirlerly A. Murphy, 神戸 恵子 「シンポジウムの文献」 記名なし 「コメント」 Jane S. Norbeck, 神戸 恵子, Clarann Weinert, Jane M. Cardea, Elizabeth R. Lenz, Shirley A. Murphy
	5	焦点●「セルフケア」 座談会「セルフケア概念をどうとらえるか—研究的にアプローチするために」 木下 康仁, 南裕子, 中西 睦子 解説「保健行動学からみたセルフケア」 宗像 恒次 解説「セルフケアを主題とした看護研究の現状」 竹内 美恵子 解説「老人看護とセルフケア」 中島 紀恵子 解説「保健婦活動におけるセルフケア」 久常 節子 海外文献「ドロセア・オレムのセルフケア実践モデルの分析と適応」 Elaine G. Whelan, 小野寺 杜紀 海外文献「患者教育とセルフケア教育：その違いは何か？」 Lowell S. Levin, 黒江 ゆり子
1988 (21 巻)	1	特集●「看護研究における論理的課題」 第1章「現代日本文化における倫理思想の構造」 小原 信 第2章「看護倫理の基本的概念と哲学的背景」 Sara T. Fry 第3章「倫理上の判断と行動の選択」 Anne J. Davis 第4章「看護研究に関連した倫理課題とその動向」 Anne J. Davis 第5章「看護研究のための倫理問題と方略：基本的概念」 Sara T. Fry 第6章「日本における看護研究の倫理的問題」 小島 操子 第7章「人権擁護委員会」 Anne J. Davis 第8章「看護研究における生命倫理についての細部検討」 Anne J. Davis 第9章「討論」 南 裕子
	2	焦点●「Burnout」 解説「燃えつき現象研究の今日的意義」 宗像 恒次 解説「燃えつき現象の精神看護学的推論」 南 裕子 解説「米国における Burnout に関する概要, 研究の動向, 今後の課題」 稲岡 文昭 解説「Burnout 現象と Burnout スケールについて」 稲岡 文昭 研究「看護婦の Burnout に関する要因分析—ストレス認知, コーピングおよび Burnout の関係」 近澤 範子 研究「Burnout に導く職場の心理的・対人的要因の根源—事例・面接・観察法をとおして」 稲岡 文昭 レポート「看護者の Burnout とエゴグラムに示される個人特性との関連」 松田 久美子 レポート「看護婦の Burnout と職場環境・性格との関連について」 舩森 とも子, 白川 こずえ, 加々見 和枝, 下谷 あけみ, 行光 美音子
	3	焦点●「Coping」 総説「対処(coping)に関する研究—文献概観」 中西 睦子, 黒田 裕子, 前田 夏実, 森山 美知子 解説「Lazarus のコーピング(対処)理論」 本明 寛 海外文献「ストレス—対処モデル」 D. W. Scott, M. T. Oberst, M. J. Dropkin, 森山 美知子, 中西 睦子 海外文献「パーソナル・コントロール, ストレス, コーピング・プロセス：理論的分析」 S. Folkman, 黒田 裕子, 中西 睦子 研究「手術を受ける患者の術前術後のコーピングの分析」 岡谷 恵子
	4	焦点●「Attachment」 解説「Bowlby のアタッチメント(愛着)理論」 三宅 和夫 解説「愛着の測定法について—ストレンジ・シチュエーション法と ABC 分類」 氏家 達夫 海外文献「父親—胎児愛着行動の探究」 Ruth Harding Weaver, Mecca S. Crankey, 工藤 美子, 前原 澄子 コメント「父親—胎児愛着行動の探究」の翻訳にあたって」 前原 澄子 報告「分娩直後の新生児に対する母親の行動—研究の動機と今後の展望」 野村 紀子

- 1988 5 焦点●「Crisis Theory」
(21 巻) 解説「危機理論発展の背景と危機モデル」 小島 操子
海外文献「危機：理論，実践，研究の総説」 Allen Darbonne, 佐藤 朋子
海外文献「危機概念の定義に関する解釈」 Bernard L. Bloom, 鈴木 善江
研究「終末期の夫をもつ妻への看護—死亡前・死亡後の妻の心理過程を通して援助を考える」 鈴木 志津枝
ケース分析 1「ケース紹介」 佐藤 禮子
ケース分析 2「Fink の危機モデルによる分析」 中村 めぐみ, 矢田 真美子
ケース分析 3「Aguilera と Messick の問題解決モデルによる分析」 佐藤 禮子
座談会「「危機理論」の活用」 鈴木 志津枝, 黒田 裕子, 矢田 真美子, 中村 めぐみ, 小島 操子